



神社仏閣・  
歴史好きに  
おススメ

の だけ やま  
は く さ ん  
ご ん ぼ う じ  
日本初の金の産地「**崑岳山**」  
農耕文化とつながる白山神事が必見の**崑峯寺**

我が国で初めて金を産出させた**崑岳山**  
奈良の大仏は涌谷の金でつくった

涌谷町は、日本初の金の産地として、天平21(749)年、奈良東大寺の大仏建立の際に金を献納したことで知られています。

町の中央に位置する崑岳山全体が黄金山と呼ばれ、その当時大勢の人が砂金の洗い取り作業を行ったことから、「谷(沢)が湧(涌)きかえる」ことから、涌谷の地名が付いたといわれています。

この「金を出せる山」黄金山の神を祀る黄金山神社は、金が産出されたことを記念して建てられた仏堂跡の上に立つ神社です。平安時代後期には奥州の神社を代表する存在であり、この黄金山神社を中心とする一帯は「黄金山産金遺跡」として、昭和42年に国の史跡に指定されています。現在は、史跡を核として公園と歴史・体験施設「天平ろまん館」による「わくや万葉の里」が整備され、だれでもこの天平の産金地を学ぶことができます。



【黄金山神社】

1300年の時を経て、  
現代の金「金のいぶき」

涌谷町では、平成29年度から涌谷産ブランド米として機能性玄米食専用米「金のいぶき」の作付けを強化しています。1300年の時を経て、涌谷の現代の金として、奈良東大寺大仏殿に献納しています。



【金のいぶき】

金のいぶきは、宮城県古川農業試験場で開発された玄米食向けの品種です。「玄米は炊くのに手間がかかる」「食感が固め」といった、これまでの玄米のイメージを覆す画期的な品種です。白米と同じように簡単に炊ける手軽さ、甘味のあるもちもちとした食感に、驚かれるお米です。通常の玄米の3倍もの大きさがある胚芽部分は栄養成分豊富で、プチプチとした食感も楽しめます。

何よりの特徴は、胚芽が大きいという点です。栄養の宝庫である胚芽が通常の約3倍もある「金のいぶき」は通常の玄米と比べ栄養が豊富で、特に、GABA(リラックス効果・血圧降下作用)とビタミンE(強い抗酸化作用・老化防止)の含有が多く、現代人に必要な機能性を有した品種です。

農耕文化と密接につながる  
崑峯寺白山神事

日本初の金の産出によって「神仏の加護を受けた聖なる山」と位置付けられた崑岳山には、平安時代になると山岳信仰と結びつき、山頂に「崑峯寺、白山社」が開かれ、平安時代末から鎌倉時代初期には数十の坊がつくられました。創建から1250年を経た今も山頂を「殺生禁断」の聖域としてまもり続けており、地域信仰の拠点となっています。

そこで守り伝えられてきた白山神事は、農耕文化と密接につながったものです。山岳信仰の一つである白山信仰に、天台密教が結びつき農の神、田の神である作神様としての当地方の信仰の中心となっています。正月行事を中心として古式に則り、数百年にわたって引き継がれてきていることは、全国的にも珍しいことといえます。

正月3日に行われる元三会と呼ばれる祈禱・おみくじの後、1月の第4日曜日例祭では御弓神事(流鏝)が行われ、小さな子供が矢を射てその年の天候や稲作、大豆、麦、養蚕の作況を占います。また、1月25日の本祭の日に白山堂では、種籾の交換が行われてきました。農民が神前から種籾を借りていき、翌年、倍の種籾を神様に恩返しする「倍返し」の習俗が毎年繰り返し行われてきました。

現在種籾の管理・継承は農業試験場で行われていますが、当地では、神事として品種改良及び頒布が行われていたユニークな儀礼といえ、崑峯寺と農耕文化の密接な関係が良くわかります。



【御弓神事】

Wakuya's Four Seasons

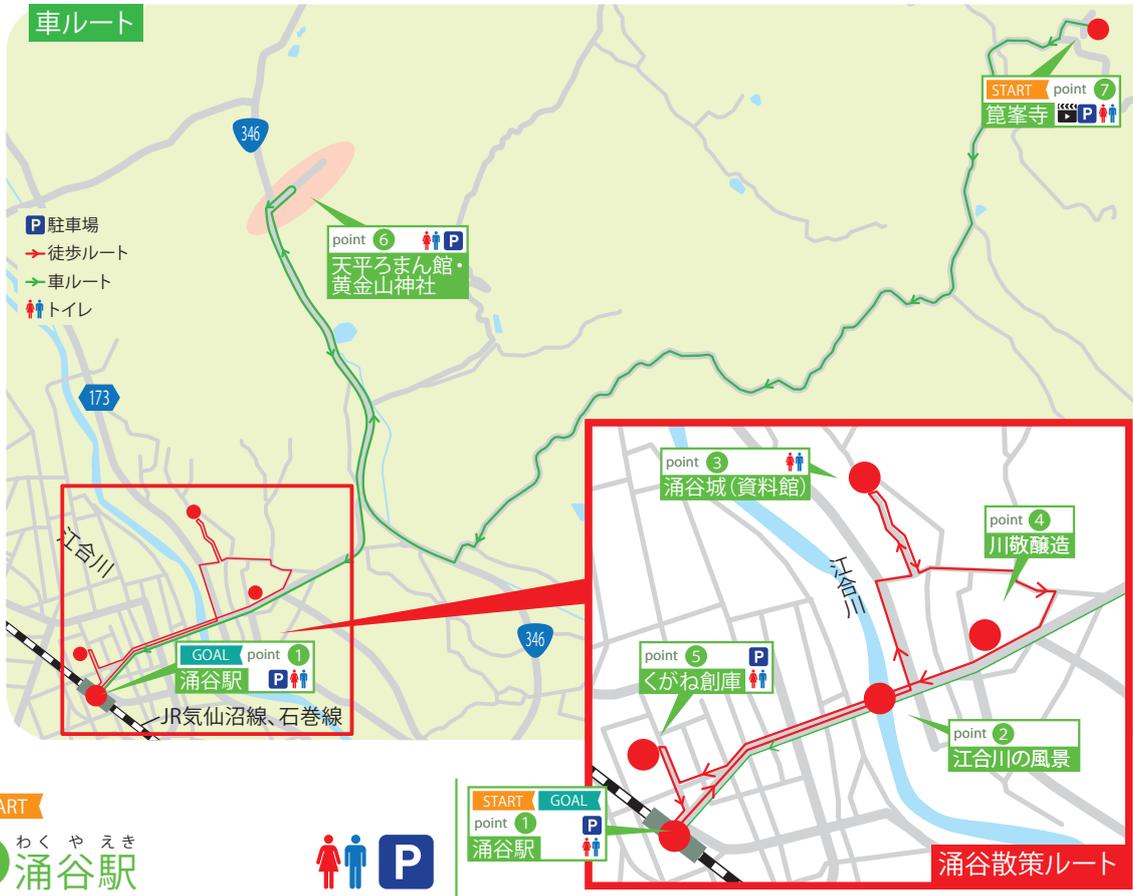
- 春 涌谷城周辺の城山公園と江合川の堤防には、4月中旬にはソメイヨシノや枝垂桜、山桜などが咲きみだれ、桜まつりが開催されます。
- 夏 天平ろまん館では、砂金取り体験が楽しめます。とれた金はストラップなどのアクセサリにも。
- 秋 収穫の時期、涌谷の田んぼでは、収穫した稲を天日干しする「くいがけ」の風景が見られます。
- 冬 正月行事は大晦日から始まり、元三会、修正会、大般若会を経て例祭に至ります。1月第4日曜日の例祭では流鏝馬が行われます。



**おすすめルートプラン**  
移動時間:約1時間

- START ① 涌谷駅  
↓ 500m 7分
- ② 江合川の風景  
↓ 500m 7分
- ③ 涌谷城(資料館)  
↓ 700m 9分
- ④ 川敬醸造  
↓ 950m 12分
- ⑤ くがね創庫  
↓ 200m 2分
- ① 涌谷駅  
↓ 3km 7分
- ⑥ 天平ろまん館・黄金山神社  
↓ 6.8km 11分
- GOAL ⑦ 籠峯寺(仁王像・観音堂・白山堂・梵鐘寛文の鐘・奥の細道展望台)

涌谷散策ルート 移動時間:約40分 距離:約2850m



**START**

**1 涌谷駅**

電車でお越しの方はここからスタートです。車の方は駅前に車を停めて歩きます。

■住所/遠田郡涌谷町字新町裏

**2 江合川の風景**

江合川は、かつて舟運にも利用されていました。江戸へ送る米「本石米」はここを通過して江戸へ向かっていました。

**3 涌谷城跡・城山公園**

涌谷伊達家の居館。現在も石垣・石段や太鼓堂は当時の遺構として残っています。

■住所/遠田郡涌谷町字下町3-2



**6 天平ろまん館**

車で天平ろまん館まで移動します。歴史館・体験施設で、東大寺の大仏に使われた金の歴史と人々の暮らしについて学びます。

■電話番号/0229-43-2100  
■営業時間/9:30~17:00 (11~3月は16:30)  
■休館日/水曜日 ■入館料/<一般> 500円<小中高> 200円  
■住所/遠田郡涌谷町涌谷字黄金山1-3



**黄金山神社**

天平ろまん館から外の史跡広場を歩いていくと、黄金山神社につきます。日本で初めて砂金が発見された地に鎮座する、創建750年を数える由緒正しき神社です。

■住所/遠田郡涌谷町涌谷字黄金宮前23



**START** **GOAL**

point 1 涌谷駅

point 3 涌谷城(資料館)

point 4 川敬醸造

point 5 くがね創庫

point 2 江合川の風景

**涌谷散策ルート**

**4 川敬醸造**

創業明治42年、味噌、醤油、つゆの製造販売。「うまい」と言われる商品づくりがモットーです。

■電話番号/0229-42-2073  
■営業時間/9:00~17:00 ■定休日/土・日曜日  
■住所/遠田郡涌谷町涌谷字涌町前西64-1

**5 くがね創庫**

旧米倉庫を改修し、芸術・文化の発表の場としたものです。また、2階では染色画家・山岸登美氏の作品を展示しています。

■電話番号/0229-43-6066  
■営業時間/9:00~17:00 ■休館日/水曜日  
■住所/遠田郡涌谷町字新町裏110



**GOAL**

**7 籠峯寺**

籠峯寺の駐車場に車を止めてスタートです。石段を登っていくと山門があります。

境内に観音堂、仁王門、山王堂、白山堂、十五の坊舎と薬師如来堂が点在しています。

■電話番号/0229-45-2251  
■住所/遠田郡涌谷町籠岳神楽岡1



**仁王像**

山門の中に、ほほえみを浮かべた仁王さまが迎えます。



**観音堂**

中央にある観音堂は、十一面観音に守られた平和な世の中で、作神様でもある白山菊理媛のもとで農耕に精を出し、豊作を享受できる構図を体現しています。内部には、「奥州鎮護」と書かれた大きな額がかけられています。大崎耕土案内板が設置されており、御弓神事の紹介を見ることができます。



**白山堂**

白山堂は作神様としても信仰する白山妙理菩薩を本尊としてことから、白山堂前では農民による種もみ交換が行われていたようです。冬には「白山祭」の「御弓神事」が行われます。



**梵鐘寛文の鐘**

籠峯寺境内にある大きな梵鐘は、通称「寛文の鐘」と言われ、梵鐘の外側は梵鐘の製作の趣意、並びに籠岳山、籠峯寺の歴史、仏法の尊さなどが述べられています。大晦日のNHKテレビ番組「ゆるく年くる年」で除夜の鐘が放映されました。



**奥の細道展望台**

山頂には展望台があり、涌谷の町、居久根のある田園風景が見られます。